

徳島県介護支援専門員協会 施設委員会

令和2年度 ケアマネジャー学習会

場所：県立総合福祉センター

4F 視聴覚室

日時：令和3年3月16日 13:30～

徳島県介護支援専門員協会 施設委員会では「介護・医療専門職による円滑なコミュニケーションを図るために自分ができること ～コーチングスキルを使って～」をテーマに安部 斗与氏（コミュニケーションオフィス SAHA 代表）を講師に迎えてケアマネジャー学習会を開催しました。感染症対策から生憎、定員 20 名に限定して案内したところ多数、お申し込みくださったり好評のうちに募集を締め切らせていただくこととなりました。

冒頭、コーチングで使われるタイプ分け診断を行いました。コントローラー、プロモーター、アナライザー、サポーターの4つに分類されるタイプはそれぞれ自己主張と感情表現の強弱で示されており他人を理解するためには、まず自分を理解することが欠かせません。自分という人間を通して他人を見て判断することから、自分がどんな考え方の特徴を持ち、どのようなコミュニケーションをとるのか？自らを客観的に知る一助となりました。

講義ではラポールの形成がコミュニケーションの基盤であり、そのためにはお互いに信頼関係を築くことが大切。あなたとなら話しをしても大丈夫という安心感とも親しい感情が通い合う状態がなければ、いくら適切な言葉を投げかけても有効な効果は生まれないと学びました。そのためには環境設定が大切で場所と時間、相手との位置関係や何より個々のパーソナルスペースに配慮した関りが重要になります。また、コーチングの基本スキルである傾聴はこちらの聞きたいことではなく、相手の言いたいことを聴き私はあなたの話しを聴いているというメッセージを伝えることだと教示くださいました。なお、相手の存在を全て認めていることのメッセージを伝える承認とは発言や言動、人格までも肯定的に認め、相手が実際に到達した点をそのまま口にするすることで、相手に達成感を持たせる行為だと教わりました。

ケアマネジャーにおいては利用者様、ご家族様に加えて自施設内外の多職種との協働が重要視されており、ケアマネジメント技術に加えて円滑な対人関係の構築に向けて本日、学んだノウハウを活かせて頂ければ幸いです。

安部先生、貴重なご講演まことにありがとうございました。

施設委員会：伊庭 利光

